

学長からのメッセージ

令和3年度卒業生の皆さん、卒業誠におめでとう御座います。この1年間は従来と全く異なり、対面の講義ができない中でオンラインによる授業となり、実習や実験、論文作成など今までにない緊張と不便さの中で、苦労と工夫を強いられ、そして迎えた卒業であり、感慨もひとしおと拝察致します。また、今日まで卒業生を見守り、支え続けてこられたご家族の皆様にも心よりお慶び申し上げます。全ての教職員および在学生を代表してお祝いの言葉を申し上げます。



長崎大学長
河野 茂

世界中の人々がこの1年間、COVID-19のパンデミックで今まで想像もできないような状況に追い込まれました。ただ、感染症というものは人や人間社会に甚大な被害をもたらす一方で、自然にとってみれば、季節はいつものように移ろい、木々はざわめき、鳥は歌う昨日のままです。今年も桜は満開に咲き、春に生きていることを教えてくれるでしょう。皆さんもお気づきのように、予測したことのない事態に直面した時、本当に予測できない時間は長くは続きません。変化が日常に組み込まれ、過去から見れば全く違う、しかし今を生きる私たちには当たり前の日々が目の前に広がっていきます。この転換期に社会の一步目を踏み出すということは、逆に考えれば、過去にとらわれず、新しい社会を日常ととらえる最初の人材となりうるのですから、皆さんへの期待は高まるばかりと言って良いでしょう。

このような時代であればこそ、是非皆さんには青春に生きるものとして、社会へ貢献する優しい気持ちを持って生き続けて欲しいと、学長として強く願っています。そして、それぞれの立場でプラネタリーヘルスに貢献しようと考えて下さい。どのような立場からでも、社会への貢献として、この決意を持って卒業後社会で活躍してくれる人材になってくれることを期待し、私の皆さんへの餞の言葉と致します。

MESSAGE FROM THE PRESIDENT

表紙のはなし

桃かすてら (アマビエバージョン)

中国で不老長寿の果実とされる桃を砂糖細工であしらい、南蛮菓子カステラの上にのせた、長崎生まれの郷土菓子、桃かすてら。今年はその桃カステラを「アマビエ」バージョンに。疫病除けにまつわる言い伝えがある、江戸時代の妖怪「アマビエ」。「病が流行ったら私の写し絵を人々に見せよ」と告げたとの伝えがあり、疫病終息への願いが込められている。
(協力:白水堂)

CHODAI DOSOとは

CHODAI DOSOとは長崎大学同窓の略で、長崎大学卒の看板を背負って社会に出る卒業生向けに、在学時代の想い出と、長崎大学の誇りを詰め込んだ冊子です。大学への愛着を感じてもらうと共に、大学との繋がりを保つツールとしてご活用ください。



国立大学法人

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

NAGASAKI UNIVERSITY CHODAI DOSO 2021



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY



／ 長大生が突撃インタビュー! ／

小学2年生の時の 感動が原点 重要なのは 自分との対話

今や漫画だけでなく、
アニメ、映画、舞台と
様々な媒体で愛されている
『弱虫ペダル』。

その作者である渡辺航さんに
インタビューさせて
いただきました。



インタビューの
下宿生さん

WATANABE Wataru

長崎県出身。3月9日生まれ。MTBやロードバイク、小径車など自転車こよなく愛する生粋のサイクリスト。『弱虫ペダル』連載を続けながら多数のアマチュア自転車レースにも参戦。週刊少年チャンピオンにて『弱虫ペダル』、別冊少年チャンピオンにて『弱虫ペダルSPARE BIKE』を連載中!



漫画「弱虫 ペダル」作者 渡辺 航氏

夢を追いかけるか、 堅実に生きるか

下宿／高校1年生の時に投稿した漫画で賞を取ったと伺いました。それでも大学に進学したのはなぜですか。

渡辺／まず、賞を取ったからといってすぐに漫画家になれるわけではないんです。自分の中では、賞を取ればポンっとすぐに漫画家になれ

るのかなと思っていたのですが、当然うまくいきませんでした。それから、高校卒業後の進路を考えたときに、夢みたいなのを言っていない、勉強して大学に進学するという『ちゃんとした』状態にならないといけない、という空気を感じて、大学に入りました。

下宿／長崎大学卒業後、地元企業に入社するも、漫画家になるために上京しようと思ったきっかけは何でしょうか。

渡辺／大学生時代は、単位を取って学年が上がることで、毎年、自分自身が明確にステップアップしますよね。でも、社会人になると、停滞感を抱くようになりました。地元企業に勤めていて悪いことは何もないけれど、社会に出てからステップアップしていない自分を俯瞰で見たとき、それが60歳まで続くのかという絶望感もありました。そのような中で、自分には漫画があることに気がつきました。『チャンスがあるんだったら賭けてみようか』という気持ちで上京しました。

自分との対話から 見えてきたもの

上京後、憧れの少年誌で担当編集者が付くも、20代後半で「少年誌には合わない」と“戦力外通告”を受けた渡辺さん。同じ出版社の青年誌を紹介されたそうです。

下宿／“戦力外通告”をされた時、どう感じましたか。

渡辺／半年くらい漫画が描けなくなりました。思い悩んで、自分と対話した時に出てきた答えは「やっぱり少年誌で描きたい」でした。その後、違う少年誌に読み切りが掲載されて、連載が始まるという経緯です。だから、自分が何をしたいのかを常に考えておかないといけない。自分との対話がとても大事です。その一方で、頼まれたことや、やらされていることに対して「自分のやりたいことではない」と跳ね除けるのはもったいない。頼み事をされるということは、あなたの能力が見込まれているということなので、絶対にやった方がいいと思います。その上で、自分にとっての分岐点がやってきたとき、常に自分と対話をしていると、自然と

進む道が見えてきます。

下 窄／漫画家になったと実感したのはいつですか。

渡 辺／漫画家って、連載してても次の月に連載打ち切りを告げられたら連載終了するシビアな世界なんです。みんなが喜ぶ面白い漫画を描くためには、とても練習しないとけないし、積み上げが必要。でも、時々、絵が上手く、自分の思い通りに表現でき、読者とも感覚が一致するという天才もいます。そういう人はとても稀有な存在です。ところが、漫画家になるうとする人の多くは、自分もそうなれると思って漫画を描き始める。そして、途中で、「理想としていた漫画家にはなれない」と気付くんです。でも、勝負はそこから。一度全部諦めてからが勝負。実はそれがとても重要です。僕もそんな経験をへて、今、『弱虫ペダル』が皆さんに認知されています。非常にありがたいです。

下 窄／漫画家になった今、目標や夢はありますか。

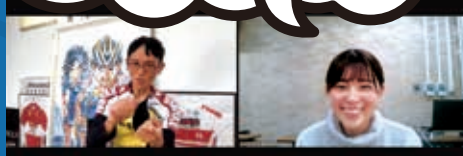
渡 辺／今、全力で漫画を描くことができているので、これを毎日続ける。まじめに真摯に読み手がドキドキする作品を描き続けることが理想です。

4年間すべての感情が、今の糧に

下 窄／大学生の頃の経験は今に活かされていますか。

渡 辺／何かを表現する職業の人は全員そうだと思いますが、基本的には人生の切り売り

自分との対話、
意外と出来ていないことだと思いました。
心がけたいです！



今回のインタビューは
オンラインでおこない
ました！

経済学部2年
下 窄 千夏

なんです。どの先生のゼミに入るか悩んだことや、学生係のアルバイトに申し込んだときのこと。大学生活の中で考えたこと、感じたことすべてが漫画を描くうえでの血肉になっています。大学時代の経験が無ければ描けていないシーンも、たくさんあったと思います。

下 窄／最後に、卒業生に向けてメッセージをお願いします。

渡 辺／私の場合、小さい頃の夢や、なりたかったもの、したかったことが自分の源流になっています。鳥山明先生の『Dr.スランプ』のコミックスを初めて読んだ時の「こんな面白いものがあるんだ」「こんな本を作りたい」という思いが原動力なんです。皆さんも、小さいころ好きだったものを掘り返して、社会に出てからもその気持ちを忘れずに、好きなことを続けていってください。

下 窄／お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。



「弱虫ペダル」最新第71巻 大好評発売中!!

総北高校自転車競技部では5日間の夏休みが明け、
遂に部活動が再開!!

坂道や今泉、鳴子たちの3年目の物語が幕を開ける!!

一方、箱根学園でも動きが…!?



渡辺さんの言葉に
心が動かされました。
これからも頑張ります。

Who's Who Our University

長大出身の先輩たち



下 村 脩 SHIMOMURA Osamu

(1928～2018)

2008年ノーベル化学賞受賞

薬学部(旧:長崎医科大学附属薬学専門部)

企業TOP

大日本コンサルタント

代表取締役
社長執行役員
新井伸博
工学部



丸大食品

代表取締役社長
井上俊春
水産学部



上原成商事

代表取締役社長
上原晋作
経済学部



西部ガス

代表取締役
副社長執行役員
太田 良
経済学部



カネミツ

代表取締役社長
金光俊明
工学部



双日九州

代表取締役社長
香田篤志
経済学部



ヴァレージヴァンガード コーポレーション

代表取締役社長
白川篤典
経済学部



ダイソーケミックス

代表取締役
執行役員社長
永松真一
工学部



※掲載五十音順

福岡中央銀行

代表取締役頭取
古村至朗
経済学部



ひびきエル・ エヌ・ジー

代表取締役社長
村瀬廣記
工学部



活躍中の先輩たち

秋野公造
医学部

参議院議員

中村明俊
教育学部

『聖水』で第124回芥川賞を受賞。ペンネームは青来有一

草場道輝
水産学部

『週刊少年サンデー』で連載中の長大水産学部を舞台にした漫画『第九の波濤』の作者

中村法道
経済学部

2010年より長崎県知事

国光あやの
医学部

衆議院議員

福地茂雄
経済学部

アサヒビール社長・会長、日本放送協会(NHK)会長などを歴任

富岡勉
医学部

衆議院議員

藤原謙次
経済学部

ローソン、ファンケル、カカクコム、サンドラッグなどにおいて重要ポストを歴任

長大在学生在が 4年生へ インタビュー



インタビュー
古賀愛子さん

山口嵩生さん

工学部4年



自身の将来と向き合い、 やりがいを見つけた “4年間”

水泳競技大会の同期との集合写真



水泳部やGP(長崎発グローバル人材育成プログラム)に所属している山口嵩生さん。勉学や部活動など、学生生活を振り返っていただきました。

古賀／大学での学びが進路選択にどのように影響しましたか。

山口／専門的な授業の受講や、インターンシップへの参加を通じて、学びを実践的に深める方法、また、将来どのような職種に就きたいか考えることができました。インターンシップを通じて、「もっと学びたい」と思う分野を見つけることができたので、卒業後は大学院に進学して、詳しく学んでいこうと考えています。

古賀／他に進学を選んだ理由は何ですか。

山口／研究者に憧れを持ったからです。学部の4年間で学べることはかなり限られているので、大学院に進むことで、より専門的な知識の習得や、研究課題の解決などに取り組みたいと考えました。また、憧れとする研究職への就職にも活かせると思い、大学院進学を決めました。

古賀／山口さんは、勉強だけでなく部活動にも熱心に取り組んでいたと伺いました。部活動で印象に残っていることはありますか。

山口／僕は水泳部とGPに所属していました。水泳は個人種目というイメージが強いのですが、大きな大会に向け、仲間同士で切磋琢磨しながら取り組んだことが良い思い出です。GPではプレゼンテーション大会に向けて、メンバーのモチベーションを上げることや、団体の組織づくり・運営を行うことで、達成感や喜びを味わうことができました。

古賀／部活動では、どのような瞬間にやりがいを感じましたか。

山口／水泳部では、試合で結果が出たとき、GPでは、イベント後に留学生やイベントの参加者に「楽しかったよ」と言われたときです。部活を掛け持ちして忙しかったのですが、その中でメンバーと助け合って何かを成し遂げることに、やりがいを感じました。この活動で、自分は非常に大きく成長することができたと思います。

古賀／私も成長できるよう、勉学と部活動を頑張りたいと思います。



GP主催のイヤーエンドパーティーにて留学生と、すごろくを楽しむ

長大在学生在が 4年生へ インタビュー



コロナ禍のため
インタビューは
オンラインで
おこないました！
下宿千夏さん

厚田梨帆さん

多文化社会学部4年



新しい世界を 見つけた経験

NGO団体ピースボートが行っている
イベントで様々な背景を持った
若者との意見交流



国連で行ったプレゼンの集客のためチラシを作り
会議に出席している方に配付



核兵器廃絶長崎連絡協議会が主催する「ナガサキ・ユース代表团」の第7期生として活動を行った厚田梨帆さん。ナガサキ・ユース代表团での活動を振り返っていただきました。

下宿／実際の活動で印象に残ったことは何でしょうか。

厚田／核兵器廃絶について、国際連合(国連)で英語によるプレゼンテーションをしたことです。核兵器廃絶に関心のある方30人ほどにインタビューを行い、その方の思いや背景を反映した動画を作りました。プレゼンはチームで行ったのですが、メンバーは一人一人平和に

対する思いや認識、関心が違うので、完成させるのが大変でした。

下宿／プレゼンを聞いた方たちの反応はどうでしたか。

厚田／とても興味を持ってもらえました。また、プレゼンを聞いてくださった方にアンケートをしたのですが、97%の方が『ヒバクシャに対する意識が変わった』と答えてくださいました。「長崎の学生からの意見が伝わったんだ」と感じ、うれしくなりました。

下宿／充実していたナガサキ・ユース代表団の活動で、厚田さんご自身の変化や成長はありましたか。

厚田／ナガサキ・ユース代表団のメンバーになる前は、国際関係などの社会問題に関

心がありませんでした。しかし、活動を通しての学びや、人との出会いによって、自分の考え方や興味が変わったと思います。また、自分がチームの中でどのように動くべきかを考えられるようになったことが、成長だと感じています。

下宿／ナガサキ・ユース代表団の活動を終えた後も、平和に関する活動をされていますか。

厚田／活動が終わった後、アメリカに留学しました。コロナウイルスの影響で実現できなかったのですが、国連で知り合った長崎出身の方と、トリニティサイトという核実験が行われた場所に行く計画も立てました。また、アメリカ人が核兵器に対してどう考えているのかを知りたいと思い、核兵器に関する授業を受けました。他にも、NGO団体ピースボートが行っているイベントで国連を訪問し、世界中の人と核兵器についての意見交換会をしました。

下宿／これまでの経験を、これからどう活かしていきたいですか。

厚田／ユースの経験を通して今ある社会に強い関心を持つ大事さを学びました。社会人になって、仮に平和活動と直接的な関わりがない仕事に就いたとしても、常に社会問題に興味を持ち、学び続けたいと思います。

Student Activities



活躍した学生たち

第1回在宅ボランティア・アイデアコンテスト最優秀賞

『紙石鹸』で手を洗おう



2020年5月「学生ボランティア支援プログラム やってみゅーでスク・Uサポ」主催で、第1回「在宅ボランティア・アイデアコンテスト」が行われました。県内7大学42件の応募のなかから、大村晃太郎さん（長崎大学）のアイデア「楽しく感染症予防 洗うと溶ける『紙石鹸』で手を洗おう」が最優秀賞に選ばれました。COVID-19の感染予防から、手洗いの重要性が増えています。溶けるまで時間がかかる紙石鹸を作ることで、子どもたちが楽しみながら、自然と手洗いの時間を延ばせるという発想が高く評価されました。大村さんはその後、学生団体「Yellow Bird」を立ち上げ、紙石鹸に色をつけたり改良を重ねたりしながら、色々な形や色をしたカラフル紙石鹸を作成し、長崎県内の保育施設等、約15箇所へ計8,000枚以上の寄付を行いました。



水際アンビュランスが池を掃除してみた

2020年8月31日から9月4日にかけて、学生団体「水際アンビュランス」の学生を中心に5名が、文教キャンパス内にある池の清掃を行いました。文教キャンパスに通う学生なら必ず見るであろう、教育学部横にある池。「あの池を掃除したい」という学生の一言から、企画が誕生しました。環境や生態系に詳しい大庭伸也准教授（教育学部）、井上徹志教授（水産・環境科学総合研究科）の指導の下、池の生物や植物について教わりながら、清掃を行いました。途中台風に見舞われるアクシデントもありましたが、藻に覆われた池は、きれいな池に大変身しました。



未来国会2020 長大生が日本一に

2020年9月27日、「未来国会2020オンライン決勝大会」が開催され、水産学部2年満田真子さん、水産学部1年渡邊誠也さん、情報データ科学部1年林田昂己さんと構成された、チーム「MASK」が見事優勝を果たしました。未来国会とは「もしあなたが日本の総理大臣ならば」という設定のもと、10年後の日本の「ビジョン」、10年後の「政策」・「予算案」を提案し、コンテスト形式で競い合う国内最大の政策コンテストです。本チームは「フグに恋する5秒前 〜ぎょ、ぎょぎょう〜」というテーマで、「水産業×IT」、「水産×多様性」、「水産×教育」を重要政策に掲げ、日本の水産業の活性化についてオンラインでプレゼンを行い、日本一に輝きました。



注目のサークル！ 映像サークル 「とまと」



映像サークル「とまと」は、映像に興味がある学生のために創設されました。2020年は、水際アンビュランスの池清掃のPR動画や、キャンドルナイトの生配信のサポート、当日までの活動の様子をまとめた動画作成・編集など、長大生の活動を魅力的に発信しました。過去の作品は、TwitterやYouTubeなどでご覧いただけます。今後の作品に期待が高まります。



長崎県内6大学合同 「キャンドルナイト ～長崎に希望の光を灯そう～」開催

2020年10月9日、長崎県内6大学合同で「キャンドルナイト ～長崎に希望の光を灯そう～」を開催しました。コロナ禍で暗い世の中を長崎の若者の力で明るく照らしたい。そんな思いから、各大学の実行委員会を中心に計画を進めました。当日はYouTubeで生配信を行い、キャンドルの幻想的な光に包まれながら、堀内伊吹教授（教育学部）によるピアノコンサート、龍踊部による演舞などが披露されました。一つ一つのキャンドルには、学生の思いが詰まったメッセージが書かれており、やさしい光が長崎の夜を照らしてくれました。



在学4年間の
ニュース

2017 - 2018 - 2019 - 2020

2017—2020 News

新型コロナウイルスの集団感染が
発生したクルーズ船「コスタ・アトランチカ号」が
無事に出港 2020.5.31

提供 長崎新聞社

2020年4月20日、長崎市に停泊していたクルーズ船「コスタ・アトランチカ号」にて新型コロナウイルス感染者が確認され、出港までの期間に合計149名の陽性者が出ました。

しかし、多くの関係者の尽力により、1人も死者を出すことなく、終息を迎えられ、5月31日に長崎市を出港しました。

今回のクルーズ船対応にあたっては、本学がキャノンメディカルシステムズと共同開発した蛍光LAMP法を活用して、約620名の乗組員に対する検査を4日間実施したほか、本学が富士通と共同開発したアプリの活用により多数の乗組員の健康管理を行うことで、地域への感染拡大を防止することができました。

Costa Atlantica

新型コロナウイルス感染症
の影響による経済困窮学生
に対する生活支援金を給付

新型コロナウイルス感染症の影響により、アルバイト等の収入が減額され、生活が困窮していると認められた学生に対し、2020年5月29日及び6月30日の2回にわたり述べ581人に1回3万円の生活支援金を支給し、支給総額は31,200千円となりました。

今回の本学独自の支援は、国からの経済支援（「学びの継続」のための「学生支援緊急給付金」）が給付されるまでの間の緊急避難的な役割を果たしたものであり、学生からも「生活が困窮していたので非常に助かりました」とのお礼の声が数多く聞かれました。

2020.5.29—6.30

情報データ科学部
設置 2020.4.1

情報データ科学部はデータ科学及び情報科学を教育・研究する長崎大学の10番目の学部として設置されました。国内では数少ないデータ科学(Data Science)と情報科学(Information Science)の両方が学べる学部で、情報抽出から意思決定までの一連の手順をAI、機械学習、数学、統計学などの「数理モデル」に基づき提案し、さらにその成果を、情報技術(IT)を用いてソフトウェア・ハードウェアといった「モノ」として社会に還元する一連の知識・技術を身につけます。

この4月には第1期生が入学し、基礎・専門科目を学びつつ、「実社会課題解決プロジェクト(PBL科目)」での企業や自治体と連携した実践的な学びを通じ、荒削りながらも学生目線の提案を行うなど、面白い成果が生まれつつあります。

卒業生みなさん、彼らと一緒に新しい課題に挑戦し、長崎から発信するイノベーションを作っていきますか？

キャリアセンター設置

全学部学生を対象とした総合的なキャリア支援のさらなる充実を目指すため「キャリアセンター」が設置されました。このセンターでは、社会で幅広く通用する能力を育て、自己形成を促すための活動を行うことで、学生のキャリア選択の幅を広げ、生涯にわたるキャリア形成を支援していきます。10月11日には、河野学長が揮毫した「長崎大学キャリアセンター」の看板が掲げられました。キャリアセンターは在学生だけでなく、卒業生の皆様も利用できます。進路に迷った際はぜひ足を運んでみてください。



2019.10.11

長崎大学FFG アントレプレナーシップ
センター設置 2019.10.1

長崎大学FFGアントレプレナーシップセンター(NFEC)は2019年10月、ふくおかフィナンシャルグループの寄附講座として、本学研究開発推進機構内に開設されました。NFECでは次世代のアントレプレナー人材の育成を目指して、学部生・院生向け教育プログラムや社会人向け人材育成プログラムを展開し、加えて大学発ベンチャー創出支援として、研究者向けインキュベーションプログラムの提供を開始しました。また、学生、研究者及び企業の方々が交流するオープンイノベーション拠点として工学部2号館1階に「ラウンジNOVE」をオープンしました。何か新しいチャレンジをしてみたい方は是非お立ち寄りください。皆様のお越しをお待ちしています。



下村脩博士逝去

SHIMOMURA Osamu (1928-2018)

長崎大学名誉博士である下村脩先生が永眠されました。享年90歳でした。下村博士は、薬学部の前身である長崎医科大学附属薬学専門部の卒業生です。ご卒業後は、名古屋大学やプリンストン大学で研鑽を積まれました。そして、2008年にはノーベル化学賞を受賞されました。2009年に本学で行われた受賞記念講演会では、「どんな難しいことでも、努力すれば何とかなる。絶対あきらめなくて成功するまで頑張ろう」という若者へのエールをくださいました。2018年12月2日には、お別れの会が開かれ、大先輩との別れを惜しみました。

2018.10.19

ヘルシーキャンパス
プロジェクト

学生や教職員の健康増進と研究成果の還元を通じて、アカデミアとして健康長寿社会に貢献しようとする取り組みで、大学生協と連携した弁当の発売や、栄養セミナーなどを行っています。また、2018年11月には「長崎大学禁煙実践宣言」を発表し、2019年8月から大学構内での喫煙を全面禁止としました。このような取り組みが評価され、2019年11月には、長崎県から健康づくりのための先進的な活動や独自の工夫により成果を挙げている団体を表彰する「ながさきヘルシーアワード」を受賞しました。今後も学生・教職員の健康増進に寄与する取り組みが企画されています。



2018.7.6

新・長崎丸 竣工

32年間活躍した三代目長崎丸に代わり、四代目長崎丸が建造されました。四代目には、最先端の設備が備わっており、三代目が東日本大震災の際に被災地に赴き支援活動を行った経験から、支援物資の輸送に配慮した設備も付加されています。コンセプトは、「東シナ海の水産・海洋科学をリードする国際洋上キャンパス」。水産学部生や他学部生のみならず、国内外の他大学の学生にも乗船してもらい、共に水産学、海洋学を探究する場を目指しています。

2018.3.26



学長交代

2008年より3期学長を務めた片峰茂学長が退任し、河野茂学長が就任しました。片峰学長は、9年間の任期中、12年に核兵器廃絶研究センター、14年には多文化社会学部の開設など、長崎大学の将来に渡る財産を残しました。

河野学長は就任時の会見内で、「教育、研究、地域そしてグローバル化に対応する使命を背負って、前学長が築いた遺産をしっかり守りながら、社会のために貢献していきたい」と語っています。

KATAMINE
ShigeruKOHNO
Shigeru

2017.10.1

Nagasaki University Research

長崎大学の研究活動

感染症と 共生への道を 追求する



山本太郎 教授

熱帯医学研究所国際保健学分野の山本太郎教授が、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する研究活動において活躍しています。

COVID-19が流行する以前から、「感染症と人間の共生」というテーマに注目し、研究を進めていました。山本教授の著書『感染症と文明』（岩波新書、2011）や『抗生物質と人間—マイクロバイオームの危機』（岩波新書、2017）などは、コロナとの向き合い方について示唆を与えてくれると、注目を浴びています。コロナ後の社会について考える一助として、手に取られてみてはいかがでしょうか。

また、山本教授は、みずから手で育てた米や野菜を食べて育つ園児たちの様子をドキュメンタリーで描いた映画「いただきます こは発酵の楽園」（2020年1月公開）に出演しています。

抵抗する、 という歴史



森 元斎 准教授

多文化社会学部で哲学・思想史について研究する森元斎准教授が、鹿児島県の西南戦争を起点に国道3号線を北上しながら、国家にあらがう民衆の諸相を描いた地誌的思想史『国道3号線：抵抗の民衆史』（共和国、2020）を執筆しました。本書では、西南戦争、水俣病、炭鉱労働者らによる闘争、米騒動の4つの抵抗運動の歴史を掘り下げ、社会が苦境に陥ったときに人々が声を上げる必要性について考察しています。2020年は、コロナ禍で人と関わる機会が激減しました。このような苦境だからこそ、他人と愚痴をこぼしながら、一緒に改善のための行動を起こすことが重要だと、森准教授は語っています。上からの圧力や負担に苦しめられた人々による、抵抗や変革の精神は、現在を生きる我々にとって必要なものの一つであると気づかれます。

人類学からの Withコロナと 差別



増田 研 准教授

2020年10月15日、東アフリカを主なフィールドとする多文化社会学部の増田研准教授が、日本学術会議シンポジウム「Withコロナの時代に考える健康希求行動が生み出す差別～人類学からの提言」で講演を行いました。増田准教授は、社会人類学の観点から、社会に形成される他者排除のしくみについて説明を行いました。見えない病原体をどのように回避するのかという人類共通の難題に対して、現在もなお、私たちはマスク着用や消毒、三密回避という可視化したウイルス回避行動を行っています。つまり、マスクといった可視化された「徴」が新型コロナウイルスをめぐる自他の境界を生み出し、過剰な健康希求行動に伴う他者排除を促しているのではないかと指摘し、私たち人間が感染者に対して陽性者や濃厚接触というレッテルを張っているために差別が生まれるのである、という発表を行いました。



TMGHの修了生とウガンダで再会

約10分で検出できる 新型コロナウイルス 検査システムの 開発



安田二朗 教授

2020年3月、感染症共同研究拠点/熱帯医学研究所の安田二朗教授、吉川禄助教らのグループが、遺伝子増幅法である蛍光LAMP（Loop-Mediated Isothermal Amplification）法を用いた新型コロナウイルスの検出方法を開発し、検出感度や特異性、迅速性などの基礎的な検証と、感染者から採取された臨床検体を用いた検証を行いました。その結果、ウイルス遺伝子を約10分で検出できることを確認しました。また、SARSの病原体であるSARS-CoVは検出せず、高い検出特異性をもつことも確認しました。軽量かつコンパクトであるとともに、操作性も優れており、医療現場や離島等での使用に適しているという点が強みの一つです。より簡便で迅速な検査となるよう、安全性や操作性も含めて更なる改良に取り組んでいます。



蛍光LAMP装置

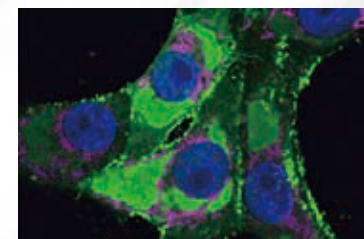
ウイルス感染の 分子メカニズム 解明!



南保明日香 教授

2019年5月26日、感染症共同研究拠点の南保明日香教授が「ウイルス関連疾患の制圧を目指した感染機構の分子基盤の解明」と題した研究により、第24回（2019年度）日本女性科学者の会奨励賞を受賞しました。同賞は、広く理系の分野において研究業績をあげ、その将来性を期待でき、かつ日本女性科学者の会の趣旨に賛同し、その達成のために努力していると認められる女性科学者を対象に授与されるものです。

本研究で南保教授は、がん及び致死性の出血熱を引き起こすEpstein-Barrウイルス（EBV）及びエボラウイルスを研究対象として、多様なイメージング技術を用いることで、既存のウイルス学的手法では解明できなかったウイルス感染の分子メカニズムを解明することに成功しました。得られた研究成果を基に、今後、診断法・治療法の開発へと展開することで、将来的に我々の健康社会の維持に多大な貢献をもたらすことが期待されます。



エボラから見る 大流行の歴史

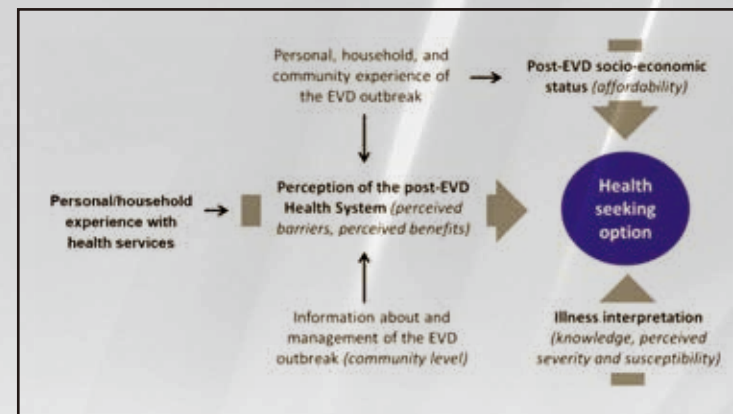


奥村順子 教授

熱帯医学研究所（熱帯医学グローバルヘルス研究科兼任）の奥村順子教授が、同研究科大学院生らとともに2013年末から2015年の間エボラウイルス病（EVD）が大流行したギニアの感染エピソード（拡大中心地）において世帯調査を実施しました。同研究メンバーらは、本研究以前に保健医療施設における医療情報を分析し、予防接種率や母子保健サービスの利用率低下を報告してきましたが、母親もしくは保護者がどのような考えで医療サービスを受診するか否かを決定しているのかは不明でした。この点を明らかにするために世帯調査を企画・実施しました。

対象は5歳未満の子を持つ保護者。当初、EVD患者が多く発生した地域の医療機関の利用率は、一般的に低いと考えられていましたが、今回の調査から、EVDにより死亡した身内や親しい友人等を持つ保護者は、子供が発熱した際には積極的に医療機関を受診していることが明らかになりました。また、周辺の人々でEVDに起因する死亡を経験した人々は、大流行終息から2年が経過した時点でも当時の恐怖心を抱き続けており、精神面での支援が必要であることがわかりました。

概念図:EVD終息後の健康希求行動に及ぼす要因



INFORMATION

同窓会についての各種ご相談はこちらまで

校友会・ホームカミングデー

長崎大学広報戦略本部 校友会・基金室 〒852-8521 長崎市文教町1-14
TEL.095-819-2007 メール kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp

多文化社会学部

絢翔会
メール sghssdousoukai@gmail.com

教育学部

一般社団法人 長崎大学玉園同窓会
〒850-0029 長崎市八百屋町36
長崎県教育会館内
TEL&FAX.095-824-5494

経済学部

公益社団法人 瓊林会
〒850-0003 長崎市片淵4丁目2-1
長崎大学経済学部内
TEL.095-821-4567
メール info@keirinkai.or.jp

医学部

長崎医学同窓会
〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
長崎大学医学部内
TEL&FAX.095-848-5484
メール ryojun_do@ml.nagasaki-u.ac.jp

歯学部

歯学部同窓会
〒852-8588 長崎市坂本1丁目7-1
長崎大学歯歯薬学総合研究科 歯科補綴学内
TEL.095-819-7692
メール dousoukai@ml.nagasaki-u.ac.jp

薬学部

長薬同窓会
〒852-8521 長崎市文教町1-14
長崎大学薬学部柏葉会館内
TEL&FAX.095-844-6383
メール jimukyoku@choyaku.jp

工学部

工学部同窓会
〒852-8521 長崎市文教町1-14
長崎大学工学部工学科
TEL.095-819-2622
メール atada@nagasaki-u.ac.jp

環境科学部

緑友会
Facebook ページ
「長崎大学環境科学部同窓会 緑友会」
メール ryokuyu.info@gmail.com
ホームページ https://ryokuyuukai.localinfo.jp/

水産学部

鶴水会
〒852-8521 長崎市文教町1-14
長崎大学水産学部内
TEL.080-6471-5965
メール kakusukai_jimu@yahoo.co.jp

熱帯医学研究所

熱研同門会
〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
長崎大学熱帯医学研究所内
TEL.095-819-7869
メール domon@tm.nagasaki-u.ac.jp

卒業（修了）証明書等の発行を申し込みたい

申込方法については長崎大学HP内「各種証明書の発行申込について」をご確認のうえ、
ご不明な点がございましたら、卒業した学部・研究科の担当係までお問い合わせください。

多文化社会学部／研究科	北地区事務課 学務第一係（多文化社会学系）	TEL.095-819-2030
教育学部／研究科	北地区事務課 学務第二係（教育学系）	TEL.095-819-2266
経済学部／研究科	南地区事務課（経済担当）学務係	TEL.095-820-6311
医学部医学科	生命医科学域・研究所事務部 学務課	TEL.095-819-7010
医学部保健学科	生命医科学域・研究所事務部 学務課（保健学科）	TEL.095-819-7909
歯学部	生命医科学域・研究所事務部 歯学系事務室	TEL.095-819-7613
薬学部／研究科（博士前期）	生命医科学域・研究所事務部 薬学系事務室 学務担当	TEL.095-819-2416
歯歯薬学総合研究科（博士／博士後期）	生命医科学域・研究所事務部 学務課	TEL.095-819-7009
歯歯薬学総合研究科（保健（修士））	生命医科学域・研究所事務部 学務課（保健学科）	TEL.095-819-7909
工学部／研究科	西地区事務課 学務係（工学系）	TEL.095-819-2490
環境科学部／研究科（博士前期）	東地区事務課 学務第一係（環境科学系）	TEL.095-819-2715
水産学部／研究科（博士前期）	東地区事務課 学務第二係（水産学系）	TEL.095-819-2796
水産・環境科学総合研究科（博士後期／5年一貫）	東地区事務課 大学院係	TEL.095-819-2800
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	生命医科学域・研究所事務部 熱帯医学研究支援課 学務	TEL.095-819-7583

校友会について

従来からの学部別同窓会とは別に、在学生、卒業生、教職員等
が共に会員となって情報を共有し、交流・連携を深めるとともに、
大学の教育・研究や社会貢献等の取組みに対する理解や協力を
促進するために、2018年10月に「長崎大学校友会」が発足し
ました。大学に関する情報発信や会員相互の交流事業の開催
等、卒業後も長崎大学への愛着と関心を共有いただくべく、活動
を広げて参ります。



ホームページは
こちら



メールマガジン
登録はこちら



寄附について

皆様からの温かいご支援を
もとに、今後とも社会への貢献
を目指していきたいと思いま
す。ぜひ、皆様のお力添えをお
願い申し上げます。寄附金のお
申し込みについては、HPでご
確認ください。

ホームページは
こちら



編集協力

◎木谷郁佳（多文化社会学部2年） ◎古賀愛子（多文化社会学部1年）
◎下窪千夏（経済学部2年） ◎本多奈和（多文化社会学部2年）

編集・発行

長崎大学広報戦略本部 校友会・基金室
TEL.095-819-2007 FAX.095-819-2156
メール kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp